

やまなみ

山形市立大曾根小学校
 学校だより
 令和5年12月20日
 校長
 No.11 土井 正路

自立した学び手を目指して～校内授業研究会～

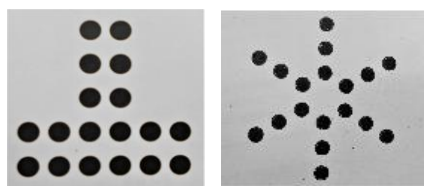
子どもたちは未来の担い手として、これからの「予測困難な時代」「超スマート社会」を生きていくこととなります。このような時代にあって、知識を一方向的に教え込むことになりがちであった教育から、子どもたちが、自ら学び、自ら考える教育への転換が必要です。本校でも学校研究テーマを「自立した学び手を目指して」とし、子どもたちに確かな学力をつけていくための授業を目指しています。私たち教員も日々学び続けることが大事です。そのために、1つの授業をみんなで参観し、指導や子どもの姿等について対話を通して話し合い、改善の方向性を探るために授業研究会を行っています。



指導や子どもの姿等について対話を通して話し合い、改善の方向性を探るために授業研究会を行っています。

左の写真は11月15日(水)に行われた6年算数(高木千鶴教諭)の研究授業の様子です。「角柱や円柱の体積の求め方」についての授業でした。課題に対して自分で考えたことを仲間に説明しているところです。モニターに映し出された図に必要な情報を書き込みながら説明しています。わからないところは聞き返したり、質問したりと自分たちで学習を進めていく姿がみられました。このとき、教員は教えるというより、コーディネートすることを大事にする必要があります。高木先生はうまく子どものことばをつなぎながら授業を進めていました。

右の写真は12月6日(水)の2.3年複式学級の算数(鏡理恵教諭)の研究授業の様子です。2年生はかけ算の学習、3年生は三角形の性質や作図に関する学習でした。2年生は●の数をかけ算を使って求める方法を考えていました。



右の写真は図に書いた自分の考えを友だちに伝えているところです。そこにうまく先生



がつながることで深い学びが実現できます。また、下の写真は複式学級で行われる1教室を正面黒板と側面黒板で2学年に分け、担任がそれぞれの学年を渡り歩いて指導している様子です。子どもたち同士で教えあう姿もみられました。複式学級の指導にも精通している山形大学附属小学校の林敏幸校長先生にも授業を見ていただき、アドバイスしてもらいました。『少人数・異学年は弱みではなく、その違いを強みにできる。』『複式学級だからこそという視点を持ち、全職員が関わる指導体制を構築していくことが重要となる。』『複式の学習スタイルは子どもたちが自らの課題を追究する場、協力して学習を深める場となる』と本校研究の方向性を強化していただきました。



みんなの力をあわせて～友だち班での長縄跳び

12月に入り、グラウンドで遊ぶことが難しくなりました。体育館で全校児童が取り組む活動として、児童会の皆さんが企画を考えてくれました。元気 100%委員会とドリームスクール委員会の共同開催です。友だち班対抗縄跳び週間&ハッピースマイル縄跳びです。12月11日～21日の中間休みや昼休みに各友だち班に分かれて、長縄跳びにチャレンジしました。最高回数は35回でした。この企画の素晴らしいところは、練習しているときに班の人に温かい言葉をかけたり、うまくいかなかったときに優しくアドバイスしたり、前向きな行動をしたりした人を放送などで紹介することです。また、自分が温かい気持ちになったことを付箋に書いて相手に届けるということも行いました。伝え合い、協力する大切さを学ぶこともできました。



息の合った舞台で拍手喝采 ～ビックリ座によるパネルシアター～



本の読み聞かせ活動の一環として、「ビックリ座」のパネルシアターがありました。ビックリ座は大曾根地区の誇るボランティアの劇団です。お話によると、結成から40年以上経ったということです。昔は幼稚園や企業、他地区への公演も依頼されたとのこと。息のあった舞台演出、まるでプロのアナウンサーのような語りを目の前で味わうことができました。

11月22日は1～3年生を対象に「たのきゅうと大蛇」を上演いただきました。真っ暗にした音楽室で迫力のあるパネルシアターを堪能することができました。物語は具合が悪くなったお母さんを見舞おうと、実家に向かうために山道を歩いていた主人公が大蛇に襲われます。大蛇からおまえは何者だと聞かれ、「たのきゅう」と答えました。しかし、大蛇は「たぬき」と聞き間違え「化けてみる」とせまります。さて、たのきゅうはどうやってこの局面を乗り切ったのでしょうか？「たのきゅうがわざとうそを言ったのが面白かった」「ハキハキ話していてすごくわかりやすかった」といった感想がありました。11月29日には4～6年生に「蜘蛛の糸」を上演していただきました。読み手の方の声の迫力に、子どもたちは物語の世界に徐々に引き込まれていきました。「知っている話でしたが、非常に迫力がありました。」「工夫された演出でした。」「自分だけでなく、他の人のことも考えて行動すべきと思いました。」「他人にも優しい気持ちをもって生きていきたいと思いました。」と慈悲の心を感じ取ってくれた6年生もいました。



中学校で一緒になるね

他校とのオンライン会議



12月11日(月)、15日(金)に6年生が山形八中学区の小学校とオンライン交流会を行いました。来年4月から一緒に学ぶこととなる仲間です。お互いの学校の様子や中学校に聞いてみたいことなどを Teams の会議で発表し合いました。接続も自分たちでできるようになっています。次回は1月17日に山形八中の先輩も交えて行う予定です。6年生星野陸斗さんは、「他校と話し合ってみて、意見を出し合うとき、ほかの学校は結構意見を出していたが、うちの学校は少ししか話せなかったなので、もっと意見を出せるようにしたい。」という感想を話してくれました。次は大丈夫でしょう。

丈夫な体を！ 栄養講話

12月5日(火)、各学年に食に関するお話をさせていただきました。講師は山形市立桜田小学校の栄養教諭である國分静佳先生です。1~3年生は「正しい食事マナーについて知ろう」をテーマに、食事前の手洗いから、食器の片付けまで、食事に関する基本的なマナーを1つ1つ丁寧に教えていただきました。4~6年生は「バランスの良い食事を考えよう」をテーマに、なぜバランスの良い食事が必要なのか、バランスが偏ると、身体にはどんな影響があるのか教えていただきました。



体の中には何があるのだろう。栄養はどこに行くのだろう。

毎日、本当にありがとうございます

毎日美味しい給食を食べることができるのは、様々な方達にお世話になっているからです。このことに感謝しようと、給食の先生、学校給食センターの職員の皆さんに各学年で手紙を書きました。1,4年生が本校給食パートの佐藤先生に、2,5年生が学校給食センターの職員の皆さんに分担して書きました。3,6年生は栄養講話でお話して頂いた先生に書きました。いつも本当にありがとうございます。



大曾根小の皆さんへ

このたびは、みなさんから優しいお礼のお手紙をいただき、大変ありがとうございます。職員みんなで読ませていただき、感激するとともに、とても励まされ、嬉しい気持ちでいっぱいです。皆さんの手紙は学校給食センターの二階廊下ギャラリーに展示し、施設見学にいらしたお客さんにも見ていただいております。(略)みなさんにおいしく、楽しく食べてもらえるよう心をこめて作っています。

学校給食センター職員一同

栄光を讃えて

山形市理科研究発表会
3年 寒河江羽乃



山形九小会場での理科研究発表会
の様子から

山形市理科研究作品展
2年 星野 蒼太
3年 伊藤 奏多
4年 土屋 悠斗

山形市こども造形展
1年 岸 瑞季
2年 阿部 日群
3年 峯田こはる
4年 金子 恵乃
5年 佐藤 瞭希
6年 高橋 風

みどりの絵コンクール
(三菱UFJ環境財団)
5年 星野 晴風

校内持久走
1年 渡邊 千樹
2年 星野 蒼太
3年 土屋 春輝
4年 奥田 雅基
5年 佐藤 瞭希
6年 高橋 一晟
大場満郎杯
6年 高橋 一晟
5年 土屋 栞奈

山形市読書感想文コンクール
2年 大井 陽太
5年 鈴木 柚葉

山形地区小学生人権書道コンテスト
5年 土屋 栞奈



みんなの力できれいな校舎に 床磨き・ワックスがけ



11月24日(金)、全校児童で各教室の床磨きを行いました。ひとり一人が一生懸命に働いていました。おかげで床がピカピカです。廊下や特別教室もきれいにしたいのですが、日程の問題や児童数の減少により、なかなか思うような活動ができずにいます。学校運営協議会でも話題にしていることでもあります。床磨き後、先生方総出でワックスがけをしました。校舎にあらためて感謝です。

ちょこっとサイエンス

目に見えない大きな力(空気)

私たちは空気がないと生きていくことができません。しかし、この空気存在について意識することはまずありません。皆さんは車や電車でトンネルの中に入ったり、高いビルのエレベーターに乗ったりすると、耳が聞こえなくなることがあると思います。これは空気の力が関係しています。空気は意外に力持ちです。1cmあたりおよそ1kgです。もう少しわかりやすくいうと、自分の手のひらに冷蔵庫がのっているくらいの重さになります。なぜ、その重さを感じないのか、不思議ですね。ぜひ、調べてみると良いですね。空気砲や逆にしてもこぼれない水の実験もこの空気関係していますね。



※学校のホームページに各行事の様子をアップしています。

保護者の皆様・地域の皆様へ

令和5年も大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。来年もよろしくお願い申し上げます。良いお年をお迎えください。